

看護師職能Ⅱ委員会

委員長：遠藤 瑞穂

1. 活動方針及び活動目標

- 1) 看Ⅱ領域で活躍する看護人材の確保に向けた情報収集と課題を見出す
- 2) 看Ⅱ領域での職場環境の現状を明らかにし、課題を見出し関係機関に発信する
- 3) 看Ⅱ領域で看護職が働き続けるための環境整備の事例について情報収集する
- 4) 看Ⅱ領域におけるカスタマーハラスメントの現状と対策について情報収集する

2. 活動内容

実施項目 【開催場所】	内 容	開催回数	委員
定例委員会 【マルイトOBPビル】 【ナースिंगアート大阪】	1. 柔軟な働き方についての情報収集 2. 無資格者の雇用についての情報収集 3. 医療福祉分野での無資格者の雇用の現状についての文献検索と共有	全8回	12名

3. 活動実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日 等	参加者
合同委員会 (看護師職能Ⅰ・Ⅱ) 【マルイトOBPビル】	1. ACP の現状と課題 2. 多様な雇用形態についての情報共有 3. 看護DXの取り組み：大阪たつみリハビリテーション病院の実践報告	9月20日 1月17日 全2回	20名 21名
【活動の概要】 1) 柔軟な働き方は病院系は数多くの雇用形態で対応、訪問看護等はプラチナナースの再雇用が増加しているが、看護職の人材確保は困難な状況である。 2) 教育システムの充実が看護補助者の定着に繋がり、雇用にも影響することが報告された。 3) 無資格者の雇用は短時間のアルバイト雇用、シニア、学生、スポーツ選手、外国人、夜間専門、入浴のみ、シーツ交換のみ等、時間限定や、業務限定などが報告された。 4) ACPについては訪問看護や施設では契約時や入所時に確認していることが多い。 5) ACPのパンフレットや冊子は地域や病院によって様々であった。			

4. 課題・その他

- 1) 地域では看護師や看護補助者の確保は、厳しさを増している。定着には心理的安全性の確保と、看護DX。教育システムの充実を念頭に置きながら、業務負担の軽減が図れる環境整備がますます重要となる。
- 2) ACP の理解促進とスタッフの育成。地域全体で取り組む ACP 啓蒙の積極的関与。
- 3) 看Ⅱ領域で働く看護職が積極的に情報収集、共有できるシステム作り